

位置図



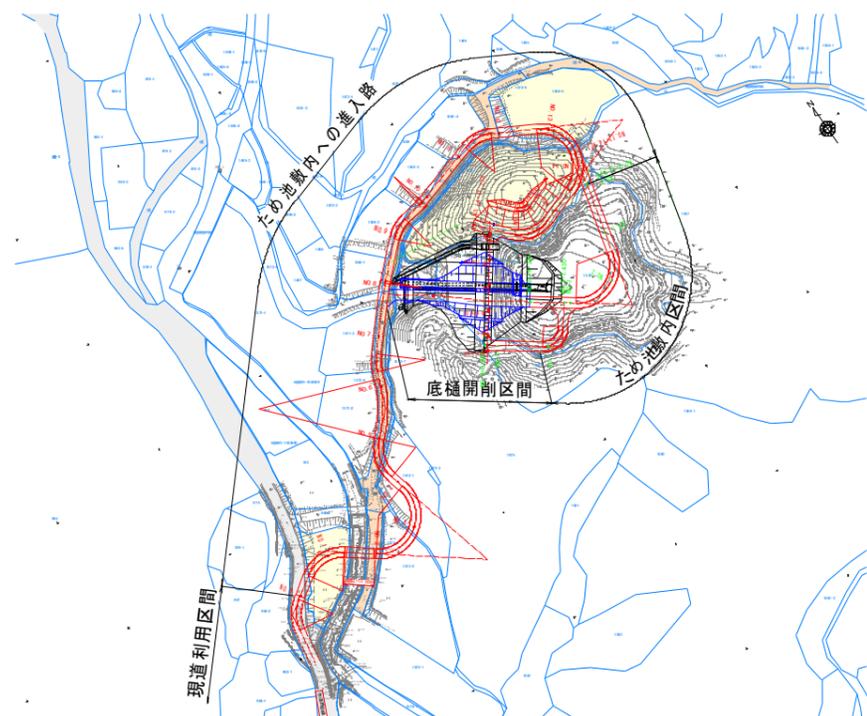
現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)

- ため池工事用道路及び通行車輛について
- 各工種の施工方法及び使用する施工機械
 - ため池内の貯水池堆積土(H=3.0m程度)における改良機械の選定について
 - 取水ゲートの吊り込み方法について
-
-
-

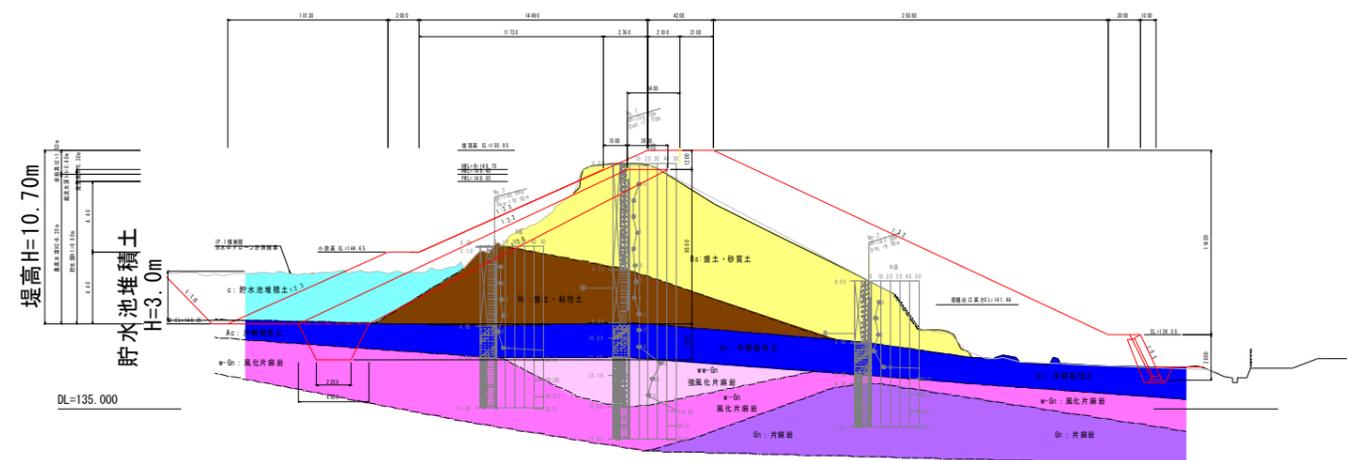
設計条件

- 堤高 H=10.7m ため池型式:傾斜遮水ゾーン型(前刃金土型)
- 堤長 L=46.0m
- 設計洪水量:Q= 1.5m³/s 未満
- 取水施設:1 箇所

平面図



標準断面図



施工者からの意見および対応方針

○配慮事項

- 進入車輛は、鉄筋等の長尺材料の搬入を目的とする 10t 級ユニック車として計画されたい。
 - 10t 級ユニック車(普通自動車)を設計条件として計画する。
- 建設機械は、市道西岳線から舗装面にゴムパッドの設置などの対策を講じた上で自走により進入する。
 - トレーラーは市道小武中村線から市道西岳線へ進入し、重機を荷下ろしする。(自走距離は約 250m)
- 工事用道路の平面曲線部は、軌跡図等により拡幅を考慮した計画とされたい。
 - 平面曲線部に拡幅を設ける。拡幅量は軌跡図により決定する。
- 工事用道路の縦断勾配は、極力 i=15.0%以下に抑えるとともに縦断曲線を考慮した計画とする。
 - 縦断図に縦断曲線を明示する。
- 農道左側一帯を借地してストックヤード及び待避所を計画されたい。
 - 待避所は、工事用道路測点の No.8 付近に設ける計画とする。
- 工事用道路計画で道路部及び底樋設置箇所について、それぞれに必要な地耐力の数値を示して欲しい。
 - ラフタークレーンによる製品吊込み時の必要地耐力を図面に明示する。
- 底樋断面の決定後、車両計画を検討する必要がある。
 - 底樋の断面規模は、プレキャスト底樋管φ800(製品重量 2.7t)を想定している。
- 取水ゲートは、堤体盛土時に BH での吊込み、または堤体盛土後にウィンチによる吊込みで一般的に実施している。
 - 取水ゲートは、ラフタークレーン以外で設置する計画とする。
- 仮設道路No.14～右岸側天端までの道路は不要である。
 - 該当箇所の計画を削除する。
- ため池内の泥土処理については、0.8m³ 級 BH であれば H=4.0m まで一度に改良した実績を有する。このため、H=2.0m 毎の2回に区分する必要はない。
 - 泥土処理は一度に実施する方針とする。

○確認事項

- 工事用道路及びストックヤード設置に伴う用地の提供が必要なため、地元の承諾が必要である。